

ファッション・ラボ in 松西 生活文化科

1 生活文化科ってどんなところ？

昭和48年に設置された「服飾科」を前身とし、平成10年に「生活文化科」になりました。徳島県内で唯一、ファッションに関する基礎・基本を学び、洋服のデザインと製作、浴衣の製作を行っています。製作した作品を自分自身が着用して、校内外でのファッションショー活動成果を発表しています。

昭和58年に、被服実習棟「藍の館」が完成し、徳島県の伝統工芸である阿波藍の染色技術も学んでいます。授業では、現代の名工である古庄紀治先生から学ぶことができます。勝浦校と共同で、アイの栽培や生葉染めにも挑戦しています。

2 「ファッション・ラボ」の取組を始めるきっかけ

「服や小物づくりが好きな人はいるはず・・・」そんな中学生に、服づくりの楽しさや生活文化科のことをもっと知ってもらいたい。安価な衣服が大量生産される時代に、自分だけのオンリーワンの服づくりに挑戦する機会をつくりたいと考えました。

3 取組のめざすもの

徳島県内で唯一の服飾系の学科である生活文化科で学んでいる生徒が、洋服や小物づくりに興味がある中学1・2年年生と一緒に、被服作品の製作を行うことで、ものづくりの楽しさを味わい、お互いの技術力を高めることができると考えています。

希望者は、仕上がった作品を高校生と一緒にファッションショーで発表できます。おしゃれに関心を持ち、服や小物づくりを楽しみ、一着一着の衣服を大切に扱う人、藍染めやファッションに関連する仕事に就きたい人が現れることをめざしています。

4 取組方法

- (1) 実施主体は、小松島西高校です。小松島西高校は、この取組を県内の中学校に周知し、ファッション・ラボのメンバーとして登録してくれる中学生を募集します。
- (2) 次のような人を待っています。
 - ・小物づくりなど、ものづくりが好きな人
 - ・服づくりに興味や関心があり、手づくりに挑戦してみたい人
 - ・ミシンで簡単な衣服を作ってみたい人
 - ・絵を描くことが好きで、ファッションに関心がある人
- (3) 小松島西高校生活文化科は、年間5回の講座を実施し、中学生と高校生と一緒に、小物づくりや服づくり、藍染めの基礎を学び、世界に一つだけのオンリーワンの服づくりをサポートします。全日程参加しなければならないという縛りはありません。
- (4) 登録されたメンバーには、生活文化科から直接準備物などの詳細な内容を連絡し、講座を実施します。
- (5) 活動場所は、小松島西高校3号館被服室（冷暖房完備）です。指定された日時に直接、小松島西高校まで来ていただくこととなります。保護者の送迎又は公共交通機関等でお越しください。中学校の先生方の引率は必要ありません。
- (6) 希望者は、生活文化科の生徒と一緒にファッションショーを実施し、自分の製作した衣服を披露します。ウォーキングの基礎も高校生から学ぶことができます。

5 取組のメリット

- (1) 生活文化科の生徒や教職員の指導を受けて作品づくりに取り組めます。
- (2) 小松島西高校の他の学科の情報を随時お知らせします。
(食物科のミニカフェ・商業科のTOKUSIMA雪花菜工房の活動など)

6 登録方法

登録は、次のいずれかの方法をお願いします。締切は、実施日の1週間前とします。

- ① 専用のFAX申込用紙に必要事項を記入し、中学校を通じて、小松島西高校の担当まで送信する。
- ② 直接、小松島西高校の担当まで送信する。

ご質問・お問い合わせは、小松島西高校 教頭（三井）まで
連絡先 TEL 0885-32-0129 FAX 0885-32-5462